

## 財政健全化と施策遂行を評価

【令和5年度9月定例会 決算審査】

今年の夏は例年以上の猛暑となりました。気温の上昇とともに電気代も上がり、そしてガソリン代も上がり続けています。一方でせっかく賃上げができたにも関わらず、それを上回る物価上昇のため、可処分所得は下がっています。国の税収は過去最高と言われていています。今こそ国民に還元するときです。秋の臨時国会で国民の期待に応えてくれるのか注目です。



松江市議会議員  
森本 ひでとし

さて、松江市議会9月定例会が9月5日から10月2日まで開会されました。令和4年度決算、令和5年度補正予算、条例案件等の議案が上程され、一部を除き原案通り可決いたしました。

令和4年度決算は、歳入総額1,149億円余、歳出総額1,117億円余で差引31億円余の黒字決算となり、歳入歳出とも高い水準となりました。これは新庁舎建設やプラバホール改修などの普通建設事業費が前年よりも増加したことが一因としてあります。長引くコロナ禍、物価高騰への対応と同時に、松江市総合計画に基づく施策が遂行された一方で、財政健全化への取り組みもなされたことを評価し、令和4年度決算は認定されました。

なお、「夢を実現できるまち松江」を創るため精力的に取り組まれると同時に、市民・議会への説明も十分に果たされるよう指摘をしておきました。

### 令和4年度 一般会計歳入歳出決算の概要

上段:R4年度 下段:R3年度・増減割合 (単位:千円)

歳入			歳出		
科目	決算額	備考	科目	決算額	備考
市税	28,879,051	個人市民税・固定資産税が増額	人件費	17,312,024	人事院勧告による給与改定、感染症対策のための職員採用増による
	(28,452,417) +1.5%			(16,859,531) +2.7%	
地方交付税	22,446,482	普通交付税が減額	扶助費	26,461,389	子育て世帯や低所得世帯等への臨時給付金減による
	(23,230,157) ▲3.4%			(29,736,687) ▲11.0%	
国庫支出金	25,159,268	子育て世帯や低所得世帯等への臨時給付金が減額	公債費	11,581,756	発行抑制効果による
	(27,032,832) ▲6.9%			(12,517,725) ▲7.5%	
市債	10,687,900	新庁舎整備事業、総合文化センター整備事業、公民館整備事業等により増額	消費的経費	30,092,877	新型コロナ対策事業費を活用し各種支援事業に充当
	(7,654,500) +39.6%			(27,938,732) +7.7%	
うち臨時財政対策債	1,833,900		投資的経費	14,543,943	新庁舎整備事業、総合文化センター整備事業、公民館整備事業等による
	(2,776,600) ▲34.0%			(9,810,541) +48.2%	

# 公約の子ども医療費助成制度を評価

令和5年度  
一般会計補正予算

令和5年度一般会計補正予算（第5号）は総額5億2千万円余で、国からの新型コロナ対応地方創生臨時交付金等を財源とし、新型コロナ禍対策、物価高騰対策に4千万円余、政策的事業に総額8億4千万円余が上程されました。

物価高騰対策のうち地域の事業者を支援するとして、畜産農家への飼料購入費用の一部支援に1,087万円、高齢者施設等で省エネ効果の高い設備投資の支援に760万円などが計上されています。

政策的事業としては、職人商店街の実現に向けた施設改修支援として6,000万円、大阪万博を契機として外国人観光客の促進事業に685万円、市長公約である中学3年生までの通院・調剤等の無償化に571万円が計上されています。

その他、松江城の保全を目的に伐採し



令和6年4月より、中学生以下の医療費無償化となります。

た樹木を有効活用するとして事業費に626万円、総合文化センター（プラバホール）整備事業で建設資材価格上昇等の対応として5,873万円、市議会のICT推進としてタブ

レット端末導入費用に1,378万円。また、ガス事業を民間譲渡するにあたり調査・準備を行うとして6,745万円も計上されています。

一方、今議会には松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定が議案として上程されました。

## 民営化には慎重な対応を

松江市ガス局の民営化については、前市長時代より様々に議論がされてきましたが、今年2月議会において速やかに検討を進めると市長答弁があり、8月4日の全員協議会において民間譲渡について具体的に進めていく方針が示されました。しかし、民間事業者からは、「突然の決定で困惑している」「なんら説明もないままに進められることに不安を感じる」などの声もあり、早急に話し合いの場を設けるよう陳情書の提出が8月10日にありました。

議会として慎重に審議した結果、この陳情書を採用し、また、ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定については今後の状況を見て判断するとして、閉会中の継続審査となりました。

なお、一般会計補正予算は可決承認されましたが、条例が成立しない限り執行されません。ガス局の件については、今後の動向に注視してまいります。

## 令和5年度一般会計補正予算 主な事業の概要

(単位:千円)

事業名	補正額	概要	事業名	補正額	概要
畜産経営緊急支援事業費	10,870	飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対して飼料購入費用の一部を支援する。	総合文化センター整備費	58,730	総合文化センターの改修にかかる建設資材価格の上昇等に伴い、スライド条項の適用を受け増額補正を行う。
高齢者施設等省エネ対策支援事業費	7,600	エネルギー価格高騰の影響を受けている高齢者施設等の省エネ設備投資を支援する。	議会ICT化推進費	13,780	市議会資料をパソコンやタブレット端末で閲覧できるシステムを導入しペーパーレス化を進める。
特定地域づくり推進事業費	6,380	安定した雇用環境を創出するため、特定地域づくり事業協同組合の設立と運営に対し支援する。	ガス事業譲渡事業費	67,450	ガス事業を民間譲渡するにあたり、譲渡先事業者を選定するための調査・準備を行う。
子ども医療費助成	5,710	子ども医療費助成制度を拡充し、中学生の通院や調剤等に係る医療費の無償化に向け準備を行う。	自治体SDGsモデル事業費	6,860	SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業の選定を受けモデル事業を実施する。
松江城伐採木有効活用事業費	6,260	松江城の保全を目的に伐採木を有効活用するため必要な加工を行う。	農林水産施設災害復旧費	178,400	令和5年5月・7月発生の大雨被害の復旧を進める。

# ◆◆◆ 代表質問概要 ◆◆◆

## これからの市役所庁舎

**問** 行政サービスデジタル化の推進取組状況をどのように評価しているか。「書かなくて済む窓口」から「行かなくて済む窓口」を目指していくのか。そうであれば、市役所庁舎はこれまでと変わってくると思うが、将来の姿をどうイメージしているのか。

**答** 実施計画に盛り込んだ30事業のうち13事業の運用を開始し、今年度は4事業の運用を開始しており計画通り進んでいる。オンラインを利用したサービス提供は、昨年度の利用件数が令和2年度の3倍増となり、利便性向上につながっている。今後も自宅や職場から行政手続きができるよう充実させていく。また、新庁舎は従来機能に加え、親しみを感じられる日常的なにぎわいの場となることを念頭に置いている。観光スポットとしての魅力の探求など利活用のあり方を検討していく。

## 海外との経済交流

**問** 7月の米国シリコンバレーの視察は企業誘致などにつながる収穫や手ごたえはあったのか。また、10月のインド訪問事業のねらいと意気込みについて問う。

**答** 物流、環境、福祉などに関するビジネスマッチングの提案については、既に動き始めており、一部のサービスで地元企業も交え協議を進めている。引き続き、積極的なトップセールスで松江の魅力を高め、ブランド力の向上につなげていく。2015年12月に締結した経済連携に関する覚書に基づく交流の再開と拡大について確認することとしている。これまでのIT分野に加え、ビジネス連携を図る産業分野を拡大し、インドの経済成長を取り込むことで本市の発展につなげたい。

## 松江水郷祭花火大会

**問** 有料観覧席を利用された方々、そうでない方々からの声はどうであったのか。また、現段階でどのように評価しているのか。社会実験として行われたのであれば、今後様々なやり方にトライしてはどうか。

**答** 場所取りせず観賞できたなど好意的な意見や観覧席の価格が高いといった改善を求める意見もあった。意見を踏まえ来年の開催方針を検討していく。有料観覧席の価格設定など改善の余地はあるが、持続可能な運営モデルの構築に向けた一歩が踏み出



花火大会は検証結果に基づき、次回の方向性が示されます。

せたと捉えている。

今回の社会実験では警備配置や資材設置、衛生環境の充実について検証することとしており、ここから見えてくる課題を捉え、来年の方針を検討していく考えである。

**問** 今年創設された松江市地域花火実証事業補助金の利用状況や来年度以降の継続について問う。

**答** 花火大会を開催した地区から地域の活性化や世代間交流の促進につながったという声が多くあった。来年度以降も継続に向け検討していく。

## 脱炭素に向けた取り組み

**問** 脱炭素社会に向けて、市民への啓発の具体的な考えについて問う。また、脱炭素に向けた新たなエネルギー源として水素が注目されているが、水素について調査研究の考えはないのか。

**答** まつえ環境市民会議との共催によるカーボンニュートラルの実践に向けた市民セミナーを開催するなど、関心を高める取り組みを行なっている。また、省エネ活動としてゴーヤ苗の配布なども行っている。今年3月策定の松江市再生可能エネルギービジョンにおいて、新たなエネルギー源として水素の検討をするとしている。現在、研究機関や各団体と連携し勉強会を立ち上げる準備を進め、水素活用のあり方を検討する協議会の設置につなげていく。

**問** 再エネ推進について、松江市は促進区域を設定しているのか。松江カントリー跡地に予定されているメガソーラーについて、協議会の設置や進め方など適切であるのか。



メガソーラー、クリーンなエネルギーとは言え、課題もありそうです。

大出日山に計画されている風力発電設備は松江市区域外ではあるが、極めて近い距離であり、隣接する八雲町の住民から懸念の声があがっているが、見解を問う。

